

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 2月 28日

公表:令和 4年 3月 26日

事業所名 子ども発達研究所NOVAサポ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	半数を公園などに連れていき支援分散している	公園などの野外活動などについては危機管理や担当を明確にして支援に取り組んでいく
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	定刻に職員打合せを実施して、支援等に対する共通理解を図る	毎日常勤職員とは出勤後に朝礼を行い情報共有を行い13時の昼礼では非常勤の職員も含めて当日の流れや支援方法の伝達を行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	SM社会性能力チェックを用いて児童の支援課題などを的確に把握して支援計画作成に取り組んでいる	定期的に伝達研修などを行うことで職員全体での共通理解・取り扱い方法などを深めていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	ヴァインランド・ISSPを実地する	WISC検査時期などを所内で管理をすることで利用者様に的確なタイミングでご提供ができるようにスケジュールを管理していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	毎週火曜日に職員勉強会を行っておりその中でプログラム立案を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	毎月最終土曜日及び毎週火曜日に行われている勉強会・日々の支援の振り返りを行っている。またその時に次月プログラムの修正などに取り組んでいる	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	学休日・長期休暇などにはイベントを入れたりなどを行っている	学校における授業日、学校休業日及び長期休業日毎の支援が適切に実施できるように事前準備を行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	事業所内活動(コグトレ)の進捗度などに基づいた計画を盛り込んでいる	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	定刻に職員打合せを行い、支援担当及び支援に関する配慮事項等の確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	職員で当日勤務終了前に振り返りを行っており翌日に非常勤職員に伝達をおこなっている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	児童の事例を検討していき環境設定の見直しを行っている	環境設定の見直し後の検証や全体認識の向上
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	必要に応じて保護者の方と面談をし、より効果のあがる個別支援計画の見直し実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	所内にガイドラインを保管して閲覧できるようにしている	火曜日の勉強会にガイドラインの読み合わせやガイドラインに沿った支援を深める内容を盛り込んでいく

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	担当者会議には事業所責任者が参画を必ずしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	所内のグループLINEを用いて連携をとっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	法人が運営する児童発達支援の事業所に通所する幼児の保護者の方を中心に、関係する保育所・幼稚園等と情報交換を密にして相互理解に努めながら支援を実施している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	支援センターや担当の先生、PT,OTさんなどの情報交換を行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	自社で行っている地域貢献活動に参加をしている【フードパントリー】	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳のみならずHUGシステムを用いて保護者に支援内容の報告を行っている	連絡帳の実効性のある活用、電話による交信、送迎時における情報支援等を通じて、保護者の方と事業所の相互理解をさらに深めていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5	1	保護者の方の支援相談に対して、家庭、事業所が同一歩調による支援の方針の実施に努めている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時に、用紙により適切かつ丁寧な説明を実施している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	電話や送迎時などに保護者に様子をお伺いしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		今後は保護者会などを開催して保護者・職員での情報共有の場を用いていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	安全・安心な事業所運営及び支援活動等に配慮するとともに、保護者の方への説明責任について適切かつ迅速に対応する体制の強化を図る	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	35	個人情報に十分注意している	6	0	施錠できる書棚の使用、印刷物の記載内容等も含めて、適切な個人情報の管理を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	現場責任者から打ち合わせ時に障害などの特性に応じた対応方法を職員に提示している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	自社で行っている地域貢献活動に参加をしている【フードパントリー】	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	定期的に防災訓練や避難訓練を行っている	今後は保護者にもHUG(療育支援システム)を用いたりして活動報告を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	新規入職者は虐待研修動画を視聴、レポート提出を行う	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	契約時に責任者が説明を行っている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	アレルギーがある児童が全職員に共通してわかるように名簿等に記載	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハットの作成と対にニコリホットを作成することで児童の両面を共有している	